

Kishinkyō Letter

一般財団法人 機械振興協会 会報

CONTENTS

- [TOPICS] 第55回(令和2年度)機械振興賞受賞者決定……p1-3
- [コラム] ウシの力で……p4
- [インフォメーション] 公式Twitterアカウント開設……p4

2021年冬号

No.02

TOPICS

第55回(令和2年度) 機械振興賞 受賞者決定



第55回機械振興賞の受賞者を令和2年12月22日に発表しました。応募は32件、受賞は経済産業大臣賞1件、中小企業庁長官賞1件、機械振興協会会長賞6件、審査委員長特別賞3件、奨励賞2件及び中小企業基盤整備機構理事長賞1件の計14件です。

新設した中小機構理事長賞は、中小企業の事業化に寄与した支援機関の活動に焦点を当てました。

機械振興賞は、昭和41年から優れた研究開発とその成果の実用化によって、機械産業技術の進歩・

発展に著しく寄与した企業や研究開発担当者を表彰しています。

中小企業・小規模事業者の取組みや、環境、ヘルスケアといった社会課題対応にも注目しています。

昨年度特別賞を受賞した歯科治療器(ノイシュタットジャパン(株))は、歯科クリニックの1% (800件以上)に導入されるなどで寄与されています。ご応募、ご推薦いただきました皆様に御礼申し上げます。

表彰式は令和3年2月下旬、来年度の募集は今年4~5月(日程はいずれも予定)に行います。

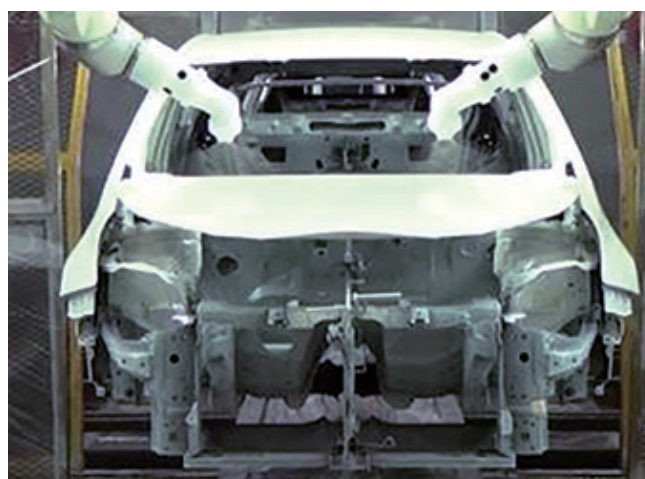
研究開発業績

[経済産業大臣賞]

超高塗着 エアレス塗装技術の開発

トヨタ自動車(株) 推薦:(一社)日本自動車工業会

圧縮空気をういない新型塗布ノズルの開発により、塗料の無駄が少なく、CO₂排出が少ない静電塗装技術を開発しました。自動車以外にも広く活用できます。



研究開発業績

[中小企業庁長官賞]

針葉樹圧密加工装置と 圧密浸漬処理技術開発

(株)天童木工

難燃・防腐・防蟻効果の高い薬液など独自技術で、国産に多いスギなど屋外利用困難だった木材の利用を可能にしました。JRホームや屋外カフェの椅子に活用が始まりました。



[機械振興協会会長賞]

(企業名:五十音順)

業績名	企業名	推薦団体名
エレメント積層型混合技術	アイセル(株)	(地独)大阪産業技術研究所
ツイン投光差分方式表面検査装置	JFEスチール(株)	(一社)日本鉄鋼協会
新世代スプリット駆動CVTの開発	ダイハツ工業(株)	(一社)日本自動車工業会
新構造トーションビームアクスルとその高効率生産技術の開発	マツダ(株) (株)ワイテック	—
紙幣の高解像度磁気画像取得を可能にするライン磁気イメージセンサ	三菱電機(株)	—
加工現象をリアルタイムにマルチ計測できる工具	(株)山本金属製作所	(公財)岡山県産業振興財団

[審査委員長特別賞]

(企業名:五十音順)

業績名	企業名	推薦団体名
安価でコンパクトな少量多品種に適した飲料充填機の開発	(株)アステック エンジニアリング	(一社)日本食品機械工業会
工具等管理対象物の持出・返却管理業務の効率化	セールスワン(株)	—
テコの原理を使って迅速な抜歯を可能にした抜歯鉗子	ノイシュタットジャパン(株) 鶴見大学歯学部(医)松伯会	鶴見大学

[奨励賞]

(企業名:五十音順)

業績名	企業名	推薦団体名
セラミックス基板の高効率切断装置	三星ダイヤモンド工業(株)	(一社)日本ファインセラミックス協会
大型ドローン性能評価装置の開発	ciRobotics(株) 大分県産業科学技術センタ	(公財)大分県産業創造機構

支援業績

[中小企業基盤整備機構理事長賞]

山口県航空宇宙 クラスターの活動支援

(公財)やまぐち産業振興財団

財団は地域企業の新事業展開を、長く支援してきました。航空宇宙企業とネットワークを築き、認証や海外展開を支援し、県内7社中心のネットワークによる参入・事業化につなげました。



機械振興協会賞の詳細につきましては、次の当協会 技術研究所Webページにて紹介しております。
<http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/>



コンシューマーアグリ研究会のご案内

技術研究所では、農業生産者と製造業とが参加し、農業生産者の具体的なニーズに基づくスマート農業を推進するコンシューマーアグリ研究会を運営しています。今年度は三菱ケミカルアグリドリーム(株)様が入会され、農業生産者11社、製造業9社で活動中です*。生産者と、機器・システムの開発者が交流できる場として、実践的で速やかな事業化につなげています。

当研究所は、農業生産者の販売計画から逆算して生

産計画を立案・管理する「豊葉プランナー」を開発し、機器とつなげて、農業生産者の経営に資する仕組みを提供しています。

令和2年10月に開催された国際次世代農業EXPO(幕張メッセ)には、研究会メンバ8社が8製品を連携出展しました。デモビデオは下記のURLでご覧いただけます。

研究会の詳細は下記URL『コンシューマーアグリ研究会』サイトのとおりです。ご参加をお待ちしております。

- 「第7回 国際次世代農業EXPO」出展の報告【デモビデオ】
<http://www.jspmi.or.jp/agriexpo2020/>
- コンシューマーアグリ研究会【研究会】
http://www.jspmi.or.jp/tri/consumer_agri/index.html



デモビデオ



研究会

※令和3年1月現在

ウシの力で

コロナ禍に見舞われた2020年、不安と恐怖にみちた世の中で、思いがけない物が流行しました。そのひとつに「アマビエ」があります。アマビエは予言を行い、疫病退散の効力を持つという妖怪です。そのため感染拡大のさなか、アマビエは大人気となりました。アマビエの姿はマスクや、置物、お菓子など様々な商品に使われ、大人気でした。厚生労働省の新型コロナウイルス感染拡大防止のアイコンにも採用されました。

そんなアマビエと同じように予言を行い、災厄から守る妖怪がいます。「くだん（件）」

という妖怪です。その姿といえば、頭は人間で身体は牛。「人+牛」なので「件」なのです。くだんは古来より、作物の豊凶や、疫病、戦争などの重大な出来事を予言してきたといわれています。そしてその絵姿は、厄除招福の護符になるとのこと。アマビエとよく似ています。

西洋では牛は、その乳や肉を人間の役に立てていましたが、日本では、牛は農作業の助けになったり、牛車など交通機関であったりと、いわゆる役牛として、民の友という役割を果たしていました。そうしたことも関係しているのか、牛は災厄から人間を守ると信じられてきたようです。

たとえば福島の会津地方の「あかべこ」は有名な郷土玩具です。黒い斑点のある赤いからだ、愛嬌のある顔にふれると首を振り続けるその姿をご存知の方は多いのではないかと思います。実はこれは子供を病から守るおもちゃなのです。赤は魔除けの色であり、黒い斑点は天然痘を表しているということです。

今年は丑年。ウシの力でコロナ退散の年になってほしいものです。

イラスト
向かって左がくだん。
右がミノウロス。
(イラスト作者kanimiso)



インフォメーション

- 機械振興協会『公式Twitter』開設いたしました。
【アカウント (@jspm_i_official)】
是非ご覧ください。

https://twitter.com/jspm_i_official

こちらのQRコードからアクセスできます→

